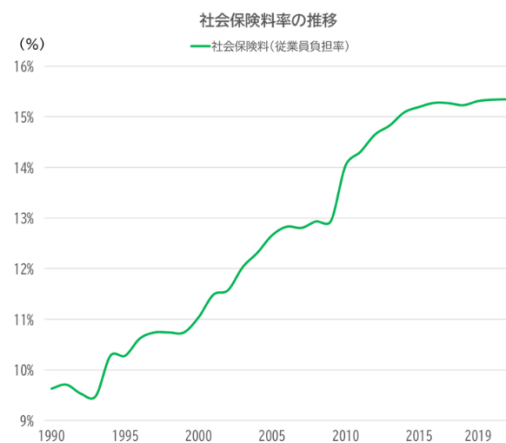


社会情勢の変化

年月日	消費税の推移と地方議会議員年金制度の変遷
昭和36年(1961年) 7月1日	地方議会議員の互助年金制度導入(任意加入)
昭和37年(1962年) 12月1日	地方議会議員の年金制度(全員加入)に変更
平成元年(1989年) 4月1日	消費税3%を導入
平成 9年(1997年) 4月1日	消費税5%に改正
平成23年(2011年) 6月1日	地方議会議員年金制度廃止
平成26年(2014年) 4月1日	消費税8%に改正
令和元年(2019年) 10月1日	消費税率10%に改正(軽減税率対象物は8%)



社会保険料については、2000 年から 2022 年にかけて、59 万円から 81 万円に増加し、約 1.4 倍になっています。また、直接税(所得税・住民税等)も、48 万円から 59 万円に増加しています。

報酬以外での課題

- ・任期終了後の再選の保証は無い。
- ・落選しても雇用保険の対象外で、失業手当はない。
- ・地方議会議員年金制度の廃止されている(平成 23 年 6 月 1 日施行)。
- ・選挙に係る経費(事務所設置費、供託金、後援会活動等)は、個人負担。
- ・厚生年金の対象外となる。
- ・退職金は無い。 ➡
- ・会社を辞めれば、保険等の加入方法が会社から個人に変わる。

本日ご意見をいただきたい内容

- ◎皆さん議員になりたいと思いますか？
いませんか？
- ◎皆さんの周りの方に議員になるよう
勧めたいと思いますか？いませんか？
- ◎率直に現在の議員報酬については、十分だと思
いますか？いませんか？
- ◎多様な人材が選挙に手を挙げるには
どうしたら良いと考えますか？

主催：諏訪市議会 担当：議会改革推進特別委員会 2024.10.12 開催

令和6年度

議員と語っちゃオ!!

趣 旨

近年、地方議会の議員成り手不足が問題視される中で、直近の選挙を振り返りますと近隣でも定員割れとなる市があるなど遠い所の話では無くなって来ています。そもそも議会では、多様な考え方による議論が必要で、幅広い年齢層の人材を必要としています。しかしながら、実際には多くの方が手を挙げる状況には無く、越えるべきハードルが有る様に感じます。議員になることによって自身と取り巻く環境や経済状況がどう変わるのか、会社は辞めなくてはいけないのか等に考えが及ぶかと思います。

来年 6 月には、議員の報酬額が妥当か否か検討いただくため「報酬審議会」への諮問が予定されています。そこで本日は、諏訪市議会基本条例にのっとり市民の皆さんと意見交換をさせていただきます。

議員の活動とは

市議会議員は、選挙によって選ばれた市民の代表として、条例の制定や予算の議決といった市政に携わる職業です。具体的な仕事内容は、おおまかに議会の開会中か、閉会中かで分かります。開会中・閉会中ともに、市民生活をよりよくすべく、市民目線に立ってさまざまな活動を行います。

開会中の活動(議会活動)

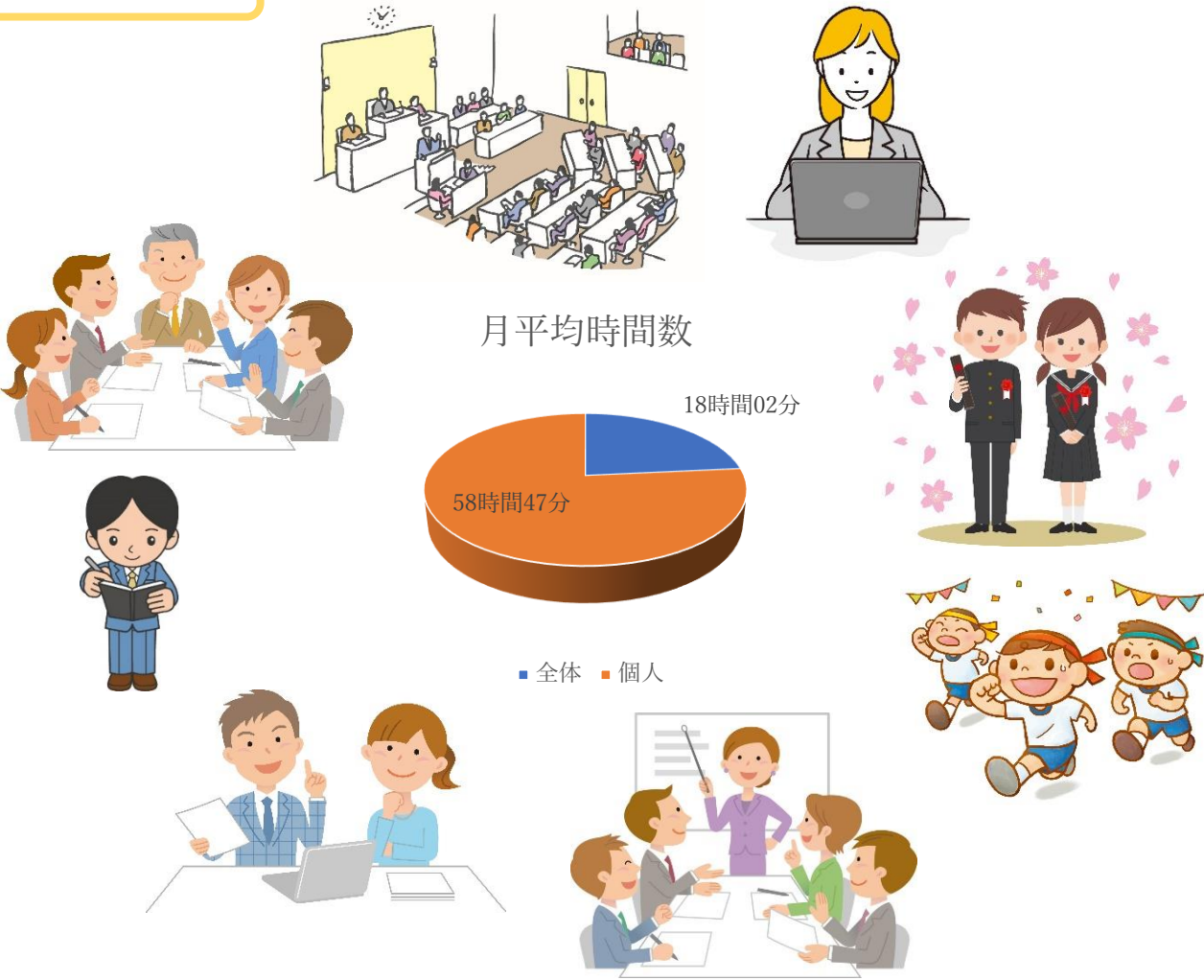
市議会の平均的な会期は、3 月、6 月、9 月、12 月の年 4 回の定例会と、必要に応じて実施される臨時会です。

定例会と臨時会の日数を合わせると約 80 日間開催されます。この会期中は、議会への出席が活動の中心となり、自治体の長である市長が提出した議案を審議したり、実施されている行政サービスに関する疑問点や不明点を追及したりします。また、市の予算案を審議し、承認することで、市の財政運営・税金の使い道が適切であるかをチェックします。ときには市議会議員自らが議案を提出する側となることもあります。

閉会中の活動(議員活動)

閉会中の業務としては、まず議会中にどんな議案が出され、それぞれの問題に対してどのような意見が交わされ、どう対処することになったかという結果を報告・発信する活動が挙げられます。当市においては、「すわ市議会だより」や YouTube などを通して報告しています。また、市民との対話を通じて、地域の課題を把握し、解決に向けた提案を行っています。ときには、ほかの自治体等で実施された先進的な事業を視察し、当市に必要と思われる施策に関して提言も行います。

議員の活動時間



全体の主な活動	本会議への出席（定例会・臨時会）
	各種委員会への出席（常任委員会・特別委員会）
	委員会視察、議員研修会等の用務
	議会に伴う打ち合わせ・広報取材・原稿作成などの用務
	議会選出議員としての公職用務（各種審議会・各組合議会・各種委員会）
個人の主な活動	議案等の精読・質問・討論の準備・文献資料調査などの個人用務
	所属会派の構成員として行う諸活動
	市民の意見や要望を聞き取るために行う活動・対応
	地域課題の把握や解決のために、行う市内外の現地調査・視察・研修・それらに伴う事務
	式典・総会・イベント等への出席



県内19市の議員報酬と全国平均

県内19市議会の議員定数、報酬等一覧 令和5年12月31日現在

	人口 (人)	議員定数 (人)	報酬月額(円/月)				改正年月
			議員	議長	副議長	委員長	
長野市	365,505	36	606,000	732,000	654,000		R 2. 1
松本市	235,475	31	497,000	617,000	554,000		H27. 4
上田市	152,484	30	443,000	542,000	475,000		H30. 4
飯田市	96,206	23	407,000	499,000	436,000		H11. 4
塩尻市	65,613	18	402,000	488,000	425,000		H26. 12
千曲市	59,166	20	384,000	478,000	412,000		
伊那市	65,357	21	368,000	467,000	391,000		R 2. 4
安曇野市	96,249	22	360,000	459,000	383,000		H17. 10
須坂市	49,621	20	358,700	460,700	391,000		R 1. 10
岡谷市	47,038	18	353,000	465,000	396,000		H16. 4
諏訪市	47,997	15	349,000	456,000	388,000		H 9. 4
佐久市	97,676	26	349,000	461,000	383,000		H10. 4
小諸市	41,513	19	333,000	427,000	354,000		H10. 10
茅野市	54,268	18	332,000	435,000	364,000		H10. 4
駒ヶ根市	31,666	15	313,000	404,000	338,000		H21. 12
東御市	29,253	17	304,000	396,000	331,000	314,000	H28. 11
中野市	42,586	20	296,300	376,500	318,000		H27. 4
大町市	25,678	16	296,000	374,000	313,000		H19. 10
飯山市	19,215	16	264,000	342,000	287,000		

全国815市の市議会議員の平均報酬月額 (単位：万円)

調査時点	議員報酬	議長報酬	副議長報酬
令和5年12月31日現在	42.5	52.0	46.0
令和4年12月31日現在	42.3	51.8	45.8

諏訪市の報酬改定は平成9年4月に行われて以降27年間行われていない。

市議会議員報酬に関する調査結果（令和5年12月31日現在）より

委員会委員長職等への報酬加算の状況 (単位：万円)

区分	常任 委員長	常任 副委員長	議会運営 委員長	議会運営 副委員長	特 別 委員長	特 別 副委員長
市数 (全国815市に対する割合)	220 (27.0%)	68 (8.3%)	212 (26.0%)	65 (8.0%)	62 (7.6%)	39 (4.8%)
平均加算額 (万円)	1.4	1.1	1.4	1.2	2.6	1.6

(注) 全市に対する割合は、小数点第2位を四捨五入。
平均加算額の数値は、百円単位を四捨五入。

市議会議員報酬に関する調査結果（令和5年12月31日現在）より